

「もっともーっとモルモット」 事前研修資料

〈引率される先生方へ〉

- ・このプログラムは飼育員と引率される先生と一緒に実施するプログラムです。安全のため飼育員と共に子どもたちと動物の安全管理をお願いします。
- ・ただ動物を触るだけで終わるのではなく、命を感じてもらい、動物に対する思いやりや、興味・関心を引き出せるプログラムです。先生方の声かけで、子どもたちの動物の見方も大きく変わります。ご協力をお願いいたします。

〈このプログラムの目標〉

この活動で、子どもたちに一番気付いてほしいことは「動物たちにも気持ちがある」ということです。気持ちがあることに気付いたうえで、子どもたちが、動物の気持ちに配慮した行動をとることを最終目標としています。

動物と子どもたち双方が安全な活動を行うことを前提としたうえで、子どもたちの学びとなるよう、ご協力をお願いいたします。

〈当日の流れ〉

プログラム名	「もっともーっとモルモット」
対象動物	モルモット
対象者	未就学児～小学校中学年
時間・場所	約 30 分・ふれあいの丘 ふれあい館多目的室
目的	・動物の様子を見て、気持ちを推察する。 ・他者への配慮を学ぶ。

具体的な 活動内容	導入（3分） ・子どもたちの楽しかった経験を聞き出す。 ・動物たちにも楽しいことや、悲しいことがあると思うか尋ねる。 ・そう思う理由を尋ねる。 ビデオを見る（10分） ・いくつかのビデオを見て、どんなことが起こったか子どもたちに発言してもらい、その中から感情についての発言を拾うことで、動物にも気持ちがあると気付かせる。 モルモットの観察（15分） ・大きな容器に入れた複数のモルモットを観察し、仕草などからどんな気持ちか考える。 ・隠れ家やエサを入れて、動きがどのように変化したか、どうして変化したのか、動物の気持ちを考える。 振り返り・まとめ（3分） ・活動の感想や、振り返りを発表する。
----------------------	---

〈事前準備〉

- ・子どもたちの数に応じて、モルモットの観察スペースを設けます。1グループにつき、最大15名程度となります。子どもたちがスムーズに移動できるよう、事前のグループ分けにご協力をお願いいたします。
- ・動物に直接触れることは少ない活動になりますが、アレルギーのある子どもについては、保護者の方とご相談の上、参加していただきますようお願いいたします。マスク等が必要な場合は学校側で準備をお願いいたします。また、アレルギーのある子どもがいる場合は、プログラム開始前に職員にお知らせください。
- ・プログラム実施時に、子どもたちの「楽しかった」「驚いた」経験をお聞きします。園内を事前にまわられる際は、子どもたちと一緒に「かわいい」以外の発見をたくさん促していただくようお願いいたします。

〈モルモットを観察する時の注意点〉

- ・モルモットがくつろいでいる場合は、優しくなでることができますが、子どもがモルモットをつかんだり、叩いたりしないよう注意してください。
- ・モルモットの顔の前に手を持っていくと、噛まれてしまうことがあります。
- ・はじめから触るのではなく、モルモットの動きと気持ちを関連づけながら子どもが観察できるように声がけをお願いします。

（例）静かにじっと見ていると、モルモットが鳴きながら見上げてくることがあります。

周囲で急な動きや音があると、怖がって隠れてしまいます。

ご不明な点があれば、お気軽にお尋ねください。

当日は、先生方も子どもたちの学びのサポート役としてご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、当日のご来園をお待ちしています。

八木山動物公園 普及調整係